

どうして鶏は毎日卵を産めるの？ 長い間に改良して、よい環境で育てているから



どうして鶏はたくさん卵を産めるのでしょうか。それは、人が鶏の祖先である「ヤケイ」（野鶏）を家畜としてたくさん卵を産める鶏に長い間かけて改良し、また、たくさん卵を産めるような環境で育てているからです。現在の産卵種の主な鶏は白色レグホーン種で年

間約280個産卵します。世界記録は365個で、まさに毎日卵を産んでいることになりました。鶏が人によって飼われ始めたのは紀元前6千年以上前と言われ、現在、この地域から世界に伝わっていったと考えられています。こうして各地へ伝わっていく中で、120品種以上の鶏の仲間たちへと発展



し、とりわけ19世紀から英国と米国で卵をたくさん産む鶏、早く大きく育つ鶏などへと改良されました。では、鶏が卵をたくさん産むことのできる環境とは何でしょう。

一つ目は、鶏は卵を抱いている間は次の卵を産みませんが、人の手で卵をかえす、人工ふ化をすることで鶏が卵を抱く必要がなくなりました。卵を抱くことを就巢性といいます。

なるように改良されています。二つ目は、鶏が春に卵を産み始め秋に卵を産むことをやめるのは1日の光の長さに関係することがわかり、鶏にいつも卵を産むように飼育場の照明時間が工夫されています。

三つ目はトウモロコシ、大豆、ビタミンやカルシウムなどを混ぜて、たくさん卵が産めるように餌が工夫されています。このように卵専用の鶏に最適な飼料を与え、管理の行き届いた施設で鶏が飼われることで、鶏は毎日卵を産むようになりました。



では、さらに改良が進めば1日に何個も卵を産むことができるスーパー鶏ができるのでしょうか。鶏のおなかの中で卵が作られるには1日かかため、それは無理のようです。